

福岡県ベンチャービジネス支援協議会

台湾における現地情報

2024年7月18日

麻布スリーエーコンサルティング合同会社

代表業務執行役 鈴木重幸

1・TSMC、日本第2工場も熊本県に

ファウンドリー（半導体の受託製造）世界最大手、台湾積体回路製造（TSMC）の劉德音董事長は2024年6月6日、日本で検討している第2工場について、場所が熊本県になると明らかにした。成熟製造プロセスを導入する方針も示した。中央通信社が伝えた。

6日の株主総会后、メディアの取材に応じた。劉氏は、日本政府はTSMCに日本での投資拡大を希望しているとし、現在、第2工場の評価を進めていると説明した。その上でTSMCが現時点で購入しているのは第1工場の用地だけで、第2工場の用地は取得段階にあり、場所は熊本県だとした。劉氏は、TSMCの成熟製造プロセスの生産能力が不足していると考えている顧客が多いことから、第2工場は成熟製造プロセスを導入する方向で検討しているとした。現時点で先端製造プロセスとする計画はないという。

熊本県で現在建設中の工場は、2024年に量産を開始する見通し。12ナノメートル（ナノは10億分の1）、16ナノ、22ナノ、28ナノ製造プロセスの半導体を生産する。

2・teamLab 共創！未来園 台北（チームラボ 学ぶ！未来の遊園地 台北）を開く。2024年10月13日まで。

デジタルコンテンツ開発を手がけるチームラボ（東京都千代田区）は6月14日から、台北市士林区の台湾科学教育館で展示会 teamLab 共創！未来園 台北（チームラボ 学ぶ！未来の遊園地 台北）」を開く。10月13日まで。

「鼓動する谷のグラフィティネイチャー」「つぶつぶの滝、全身ですくうと小さきも大きなうねりとなるだろう」「すべて育てる！ フルーツ畑」「光のボールでオーケスト

ラ」「弾む水の天才ケンケンパ」などのタイトルで、空間を使ったインスタレーションを展示。来場者の動きに反応して変化したり、来場者が描いた絵が現れたりとインタラクティブな内容となっている。

「学ぶ！未来の遊園地」代表の松本明耐氏は「チームラボは2012年に台湾美術館で展示を行ったが、その際に子どもたちが走り回りながら楽しんでいる姿を見て、『共創』というテーマで作品作りをすると決めた」と説明した。松本氏によると、前回の21～22年の台北と高雄での展示では計30万人が来場したという。

入場料は平日470台湾元（約2,280円）、休日490元。ペアチケットは平日890元、休日930元となる。チケットはチケットサイト「udn售票網」や旅行サイト「KLOOK（クルック）」などで販売。8月20日は休館日。



<https://futurepark.teamlab.art/places/taipei2024/>（写真引用元）

3・商船三井傘下、3隻目SOVの造船契約

商船三井は2024年6月28日、同社と台湾の船舶管理会社の大統海運の合併会社、大三商航運（TSSM）が、オランダの造船大手ダーメングループと洋上風力発電所の技術者の輸送に特化した船舶「SOV（サービス・オペレーション・ヴェッセル）」の建造に関する造船契約を6月27日に締結したと発表した。TSSMとしては、3隻目のSOVとなるという。2026年末の竣工（しゅんこう）を予定している。

商船三井によると、今回造船契約を締結したSOVは全長87.7メートル、全幅19.7メートルで、最大乗船人員は120人となる。将来的にメタノールを燃料とすることが可能な設計。20年代後半に建設、運転開始が予定されている台湾の洋上風力発電所への投入を計画している。

TSSMIは、22年にアジア初の新造SOV「TSS PIONEER」を竣工。23年11月には、ダーメングループと「TSS CRUISER」の建造に関する造船契約を締結している。

4・中国・香港・マカオへの渡航警戒レベル引き上げ 不要不急の旅行中止求める／台湾



イメージ

台湾で対中政策を担う大陸委員会は6月27日、中国や香港、マカオへの渡航警戒レベルを4段階で上から2番目の「オレンジ」に引き上げた。不要不急の旅行をやめるよう呼びかけている。

大陸委の梁文傑（りょうぶんけつ）報道官はこの日の定例会見で、中国などでは近年、国家の安全に関する法令が制定、改正され続けていると指摘。訪中した多くの人々が不当に身柄を拘束されたり、取り調べられたりしていると語った。

また中国が6月21日、台湾独立派による国家の分裂行為や国家の分裂を扇動する行為などを処罰する指針を発表したのに触れ、中国などに渡航する人の身の安全が著しく脅かされているとし、不要不急の旅行をやめるよう求めた。

中国などに渡航する場合は、デリケートな話題などについて話すことや触れること、港湾や空港、軍事演習場所の撮影、政治や歴史、宗教に関する書籍の携帯などを避けるよう呼びかけた。

5・台湾政府観光局が6月29日、福岡に来て、台湾を訪れる日本人の観光客数を急ピッチで増やすために台湾観光フォーラムを開催しました



引用元:発行:NNN ASIA
The Daily NNA 台湾版
台湾新聞社

台湾観光庁・台湾観光協会主催は2024年6月29日、JR博多シティにおいて、観光プロモーションイベントを開催した。

当日は特別来日の台湾こま(ジャグリング)パフォーマンス団やDIY体験のほか、特別ギフトが当たる「スタンプラリー」や「訪台個人旅行5000元抽選キャンペーン」、また台湾の旅行関係者がブースを設けて、旅行相談を実施するなど大変盛況であったという。

2024年の7月号と2025年1月号を担当致します台湾・韓国のアドバイザーをしています麻布スリーエーコンサルティング合同会社の鈴木重幸です。
台湾の最新情報をリアルタイムで収集し、メールマガジンとして配信させていただきます。
何卒よろしくお願い申し上げます。